



喜怒哀楽

先日、新聞記事のコラム欄の中に出ていた「喜怒哀楽」の四文字が私の目と心をしばらく離してくれませんでした。

ネガティブな感情を表す“怒と哀”の漢字が、ポジティブな漢字の“喜と楽”の文字に囲まれ、挟まって動けないでいるかのように感じてきました。そして、私は「いっそのまま、この世界から“悲しみや淋しさ、怒り”などがなくなればいいのに。」と思いました。

赤ちゃんが、この世に生を受けた時の「おぎゃあー」は、悲しみの泣き声ではなく、自分の存在のアピールと、感謝と歓びの第一声です。

その後、赤ちゃん自身に不快なことが起きたり、不安な気持ちになったりした時にも泣いて訴えました。(すぐには分かってもらえなくても、懸命に分かろうとしてくれるその人の気持ちは、赤ちゃんの心の奥にしまっていたのではないのかなあ。)

こうして、自分の気持ちや言いたいことをだんだんと理解してもらえるようになっていった赤ちゃんは、その都度嬉しさや満足感などを笑顔で返してくれました。



幼児期の中にいる子どもたちは、『自分と同じようにお友だちにも気持ちがあり、お友だちにはお友だちの考えや気持ちがあるんだ』というようなことを現在進行形で学んでいます。それに自分が感じてきた“心地よくない気持ち”も、みんなにもあることに気づいていく道の上をゆっくりと歩んでいる子どもたちです。

自分のためだけではなく、他の人のために悲しんだり怒ったりすることなどもとても大切なこと。
そんな意味も込めて、怒と哀をちょっと小さめに残したお便りの題にしてみた 園長 小杉 隆

交通安全教室

「かもしかクラブ」

2月のがんばりは…

『雪道の注意』

車は、ブレーキをかけても雪道ではスリップしやすく、すぐには止まれません。「ストップの約束」をしっかり行ってから渡りましょう。



3日(月) 豆まき

5日(水) 動いてあそぼう(5歳児)

7日(金) 避難訓練①

11日(火) 休園(建国記念の日)

22日(土) 発表会

24日(月) 休園(振替休日)

27日(木) 2月誕生会

28日(金) かもしかクラブ(園児のみ)

